

和歌山県医師会の男女共同参画・女性医師支援の取り組み等について

(平成 27 年度以降分)

平成 27 年度

- 平成 27 年 4 月 1 日 和歌山県立医科大学で(新)研修医オリエンテーションにて同様に解説す。
- 平成 27 年 4 月 2 日 和歌山県医師会主催で県内新臨床研修医歓迎会を実施す。
- 平成 27 年 6 月 30 日 県男女共同参画審議会へ出席す。
- 平成 27 年 7 月 25 日 日医男女共同参画フォーラムへ出席す。(徳島)
- 平成 27 年 8 月 8 日 2020.30 実現をめざす地区懇談会実施す。
- 平成 27 年 10 月 1 日 女性医師メンター制度開始す。
- 平成 27 年 10 月 18 日 日医 2020.30 推進懇話会へ出席す。
- 平成 27 年 11 月 12 日 医学生をサポートするための会
(和歌山県立医大)(ワークライフバランス講義)
- 平成 27 年 11 月 20 日 和医大で「実地医家としての地域医療」を講義す。
- 平成 27 年 11 月 21 日 平成 27 年度女性医師の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者、管理者等への講習会(女性医師フォーラム)
- 平成 27 年 11 月 28 日 日医女性医師支援センター事業近畿ブロック会議(担当:兵庫)
- 平成 27 年 11 月 29 日 和歌山県医師会医学会総会で発表。
(県内女性医師アンケート調査での変遷と問題点)
- 平成 27 年 12 月 県病院協会と協働で県内病院ガイド冊子を作成配布。
- 平成 27 年 12 月 18 日 日医大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会に出席す。
- 平成 27 年 12 月 22 日 県 DV 被害者支援ネットワーク会議に出席す。
- 平成 28 年 1 月 21 日 県病院協会主催「女性医師復職支援研修会」を共催。
- 平成 28 年 2 月 3 日 県男女共同参画審議会へ出席す。
- 平成 28 年 2 月 26 日 平成 27 年度日医女性医師支援センター事業連絡協議会へ出席す。
- 平成 28 年 3 月 25 日 日赤和歌山医療センター平成 28 年度新規採用研修医に講演す。

平成 28 年度

- 平成 28 年 4 月 1 日 和歌山県立医科大学附属病院平成 28 年度新規採用研修医に講演す。
- 平成 28 年 4 月 7 日 県医師会による県内新臨床研修医歓迎会実施す。
- 平成 28 年 7 月 5 日 和歌山県男女共同参画審議会公募委員選考部会に出席す。
- 平成 28 年 7 月 26 日 和歌山県男女共同参画審議会基本計画策定部会に出席す。
- 平成 28 年 7 月 30 日 日医男女共同参画フォーラムへ出席す。(栃木)
- 平成 28 年 8 月 6 日 県医師会男女共同参画委員会並びに女性医師メンター制度医師合同協議会
- 平成 28 年 8 月 6 日 2020.30 実現をめざす地区懇談会～わか JOY 会～
- 平成 28 年 10 月 1 日 日医女性医師支援センター事業近畿ブロック会議(京都)
- 平成 28 年 10 月 25 日 和医大ワークライフバランス講義
日医(医学生・研修医をサポートするための会)
- 平成 28 年 11 月 8 日 女性医師支援講座(和歌山医大・基礎教育棟)実施。
- 平成 28 年 11 月 22 日 和歌山県男女共同参画審議会にて県男女共同参画 5 ヶ年計画(第 4 次)を審議す。
Wakayama JOY JOY Meeting 講演会後援。

- 平成 28 年 12 月 2 日 日医「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」に出席す。
(和医大・北野尚美講師発表)
- 平成 29 年 2 月 17 日 日医女性医師支援連絡協議会。
- 平成 29 年 3 月 22 日 日赤和歌山医療センターにて同センター平成 29 年度新臨床研修医に
対して「医師会について、女性医師について、地域医療連携につい
て」を講演す。

平成 29 年度

- 平成 29 年 4 月 3 日 和歌山県立医科大学にて同大学新規採用研修医に対して同上の講演す。
- 平成 29 年 4 月 6 日 県医師会による第 4 回新臨床研修医歓迎会を実施す。
- 平成 29 年 7 月 22 日 日医男女共同参画フォーラムに出席す。
- 平成 29 年 8 月 3 日 県男女共同参画審議会に出席す。
- 平成 29 年 8 月 11 日 地域における女性医師支援懇談会「わか Joy 会」を実施す。
- 平成 29 年 9 月 29 日 日医「大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会」
- 平成 29 年 10 月 14 日 日医女性医師支援センター事業近畿ブロック会議。
- 平成 29 年 10 月 20 日 和医大ワークライフバランス講義
- 平成 29 年 11 月 16 日 JOY JOY Meeting 講演会 (第 21 回)

平成 30 年度

- 平成 30 年 2 月 14 日 日医女性医師支援連絡協議会
- 平成 30 年 3 月 20 日 和歌山県男女共同参画審議会出席
- 平成 30 年 3 月 28 日 日赤和歌山医療センターにて同センター平成 30 年度新臨床研修医に
対して「医師会について、女性医師について、地域医療連携について」
を講演す。
- 平成 30 年 4 月 3 日 和歌山県立医科大学にて同大学新規採用研修医に対して同上の講演す。
- 平成 30 年 4 月 5 日 県医師会による第 5 回新臨床研修医歓迎会を実施す。
- 平成 30 年 4 月 11 日 JOY JOY Meeting 講演会 (第 22 回)
- 平成 30 年 5 月 26 日 日医男女共同参画フォーラムに出席す。
- 平成 30 年 7 月 4 日 和歌山県男女共同参画審議会公募委員選考部会
- 平成 30 年 7 月 12 日 JOY JOY Meeting 講演会 (第 23 回)
- 平成 30 年 7 月 17 日 (和歌山県) 女性活躍企業同盟トップセミナー出席。
- 平成 30 年 8 月 4 日 男女共同参画委員会並びに女性医師メンター制度医師合同協議会、地域
における女性医師支援懇談会
- 平成 30 年 10 月 12 日 (和医大 4 年生) ワークライフバランス講義
- 平成 30 年 10 月 21 日 日本職業・災害医学会学術大会
(シンポジウム 13 性差医療からみた働く女性の現状と課題)
- 平成 30 年 11 月 10 日 日本医師会女性医師支援センター事業 近畿ブロック会議

(今後の予定)

- 平成 30 年 11 月 11 日 (和歌山県) イコール会議
- 平成 30 年 11 月 14 日 JOY JOY Meeting 講演会 (第 24 回)
- 平成 30 年 12 月 9 日 (日医) 女性医師支援担当者連絡会
- 平成 31 年 1 月 19 日 女性医師の勤務環境の整備に関する病院長・病院開設者、管理者等へ
の講習会

2017年

2

10/9

(月・祝)

13:00~15:30

県立情報交流センター Big・U (ビッグ・ユー) 1階

TEL 0739-26-4111 (田辺市新庄町 3353-9)
地図 http://www.big-u.jp/map_bus/access.html

第5期 総会記念事業

パネルディスカッション & みんなでいっぱい話そう!

生き方いろいろ、聞いて話して元気UP!

無料
定員 70名

オープニング mini 公演 ~ストーリーテリング「昔話を語る」~ 堅田 凱子 (かちこ) さん

アドバイザー 和歌山県知事 仁坂 吉伸 様
イコール会議代表 松原 敏美
コーディネーター 水上 久美子 (多様な生き方応援部会)

パネリスト (五十音順)

上田 茜 (子育て・介護環境部会)
「ママ・カレッジ(クラウドファンディング事業)」から
榎本 多津子 (多様な生き方応援部会)
「県男女共同参画計画」の策定部会長を終えて
須佐 真理子 (多様な生き方応援部会長)
これまでの部会活動「多様な出会い」から
松下 泰子 (働き方部会)
NPO 法人「ハートツリー」子ども・若者支援活動から
村山 淳子 (働き方部会)
「カフェ・ジョンノビ」経営や地域活動から

“自分たちの地域を自分たちで元気にしていきたい”と2013年に発足しました 和歌山イコール会議 は、会員約120名が、6つの「部会活動」を中心に取り組んでいます。

活動を通じて多様な分野の女性がネットワークを結び、また、様々な課題と一緒に考え、出来ることから取り組んでいます。

小さな力がつながることで、新しいアイデアが生まれ、新しい輪になって広がっていきます。

この機会にあなたもムーブメントに参加しませんか。

主催 和歌山イコール会議 (企画/運営: 多様な生き方応援部会)

お問い合わせ・申込先

E-mail: wec_1201@yahoo.co.jp

TEL・FAX: 073-423-3404 (須佐)

研修医しつター



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館

電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530

E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

平成30年2月発行

患者さんからの苦情やクレーム・・・その対応

傾聴と丁寧な言葉遣い

患者さんが医療機関に苦情やクレームを申し出る背景には、患者に強い不満や不快感があるという事実をよく認識しなければならない。訴えは単なる思い込みから医療過誤や医事事故にまで多岐に亘っているが、途中で遮らずに言いたいことを一通り聞き、心の澱(おり)を吐き出していただく。患者さんが「聞いてもらえた」と感じられれば、それだけで解決する場合も多い。話を聞く際の態度や受け答えが重要で真摯な感じの表情を浮かべ、例えば「酸っぱいものを食べたときのような表情」をする。医師自身が感情に任せて興奮したり怒ったりせず、丁寧な言葉使いが重要である。訴えを5分ほど「傾聴」して煩わしい内容であれば、聴くだけにとどめ即座に返答をしない。20～30分くらいを目途に「これ以上、お話を続けても同じ話の繰り返しになってしまいます。」と伝えて打ち切るようにする。

D言葉は禁句

注意すべきは接続詞の選び方で「D言葉」の「だから」「ですから」「でも」「だって」は、トラブルの初期対応では禁句となる。「S言葉」とは「失礼いたしました。」「承知いたしました。」といった相手に同意を示すフレーズで、たったこれだけのことで、爆発寸前のトラブルを食い止めることができる場合もある。

まず、不満を述べる患者さんに、「ええ」「なるほど」などの肯定も否定もしない言葉を返しながらか傾聴する。患者さんが一呼吸ついたときにすかさず、同意できる点を見つけて「確かに」という言い方をする。こちらに非がない場合は、きちんと主張しなければならない。その際に使うのが「実は」だ。話しやすい雰囲気を作る聴き方(傾聴)の方法には①アイコンタクト ②沈黙 ③相槌・うなずき「そうですか」「なるほど」など④繰り返しがあ

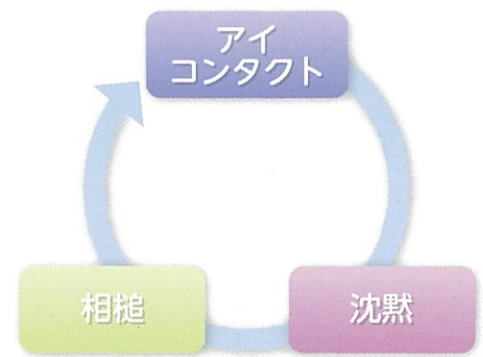
★モンスターペイシェント(悪質クレマー)への対応には医療機関の「施設管理権限」に基づいて注意と警告を行う必要がある。自分自身で解決しようと思わず、上司等へまず相談すべきであろう。

(注1)上記はあくまで例示であり現実の対応はケースバイケースとなる。各病院の規則に則り対応下さい。

(注2) (参考資料)日経メディカル記事 日耳鼻医会冊子

初期対応の基本的な要点

- ・相手の言い分を十分聞き、途中で話を遮らない。
- ・不快な思い、時間を割かせたことに対してのお詫びの言葉を述べる。
- ・安易な謝罪はしない。
- ・十分に話を聞く姿勢を取る。
- ・相手には最大の誠意を表現する。
- ・上司と相談の上 対応、行動は早く。遅いと評価されない。
- ・込み入った訴えであれば、話し合いを録音かメモをする。



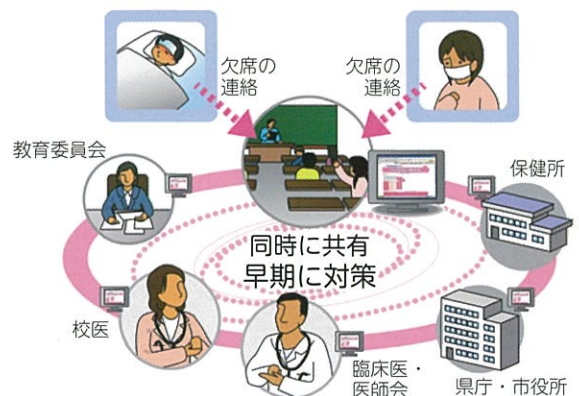
和歌山県医師会でも医事紛争を含む相談対応が可能

学校欠席者情報収集システム

集団生活で、感染症が蔓延しやすい環境にある学校等において、感染症による入院、死亡といった重症化を防ぐために集団発生を早期に探知し早期対応をするために、記録・連携・早期探知を一元化した新しいリアルタイムサーベイランスです。

全国の情報は

https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php



「ふれあい健康ネットワーク」
「子どもの救急 どうすればいいの? (仮テーマ)」

番組では、和歌山県医師会として県内の小児救急医療にどのように取り組んでいるのか? その特徴と具体的な取り組みを紹介します。

主催:和歌山県医師会
日時:平成30年4月5日(木) 夕刻~(詳細後日)
場所:ホテルアバローム紀の国3F
費用:無料

先輩医師の体験記

先輩研修医として

医療法人裕紫会 中谷病院 末本 浩基先生

私は医療法人裕紫会中谷病院で内科医として勤務しています。

日頃は内科外来・入院診療と訪問診療を行っています。みなさんは現在、研修医として日々研修に励んでいることだと思います。

研修医期間という貴重な時期にどのような意味があるのか私なりに考えたことをお伝えしたいと思います。

我が国の臨床研修医制度は昭和21年に実地修練制度(インターン制度)が創設されスタートしています。その後、昭和43年に実地修練制度が廃止され、臨床研修医制度が創設されました。この当時の研修医制度は「医師免許取得後2年以上の臨床研修を行うように努めるものとする」とする努力規定でした。平成16年、新臨床研修医制度が始まり「診療に従事しようとする医師は、2年以上の臨床研修を受けなければならない」とされ臨床研修が必修化されました。

厚生労働省では臨床研修の到達目標として①行動目標 医療人として必要な基本姿勢・態度 ②経験目標 (1) 経験すべき診察法・検査・手技 (2) 経験すべき症状・病態・疾患 (3) 特定の医療現場の経験を設定しています。基本的な手技等を習得するとともに、医療人としての基本姿勢の習得が目標とされています。また、医療の現場でも「スペシャリスト」と「ジェネラリスト」という表現があります。スペシャリストとは専門分野に特化した医師(専門医)のことであり、ジェネラリストとは幅広く様々な症状・病状に対応するような総合診療医のことです。

現在の医療は技術が日進月歩高度化されると同時に、在宅医療・訪問診療など地域医療の必要性・重要性も高まってきています。癌末期の患者をなんとか自宅に帰れるようにサポートし在宅で最期の時間を過ごせるように緩和的なケアをしたり、自宅での生活が困難となり施設入居となった方の健康管理を行うなど医療のニーズは多岐

に渡っています。

このような医療ニーズをひとりの医師でまかなうことはとうてい出来ず、専門医とかかりつけ医、往診医など様々な医師が連携を取らないと、ひとりの患者の医療が完成しない時代になってきていると言えます。

みなさんの研修医期間にどんな目標をお持ちでしょうか?

臨床研修期間を経て、どんな医師像を描いているでしょうか?

また将来、自分の活躍の場をどのように考えているでしょうか?

みなさんが臨床研修後に、特定の臓器・特定の分野に特化した専門医を目指していくか、もしくは地域医療で幅広く患者や病状をフォローするような医師を目指すかなど様々なと思いますが、いずれも場合も患者(人)を相手にすることに違いはありません。どんな病気・症状で困っている人でも、「ひと」としての対応が必要となってきます。

ひと昔前には「病気を診て、人を診ず」というような表現がありました。専門医志向ばかりが先行し全人的な対応が疎かになっていたのかもしれませんが。

当院の院長であり、私の恩師である西野伸夫院長のお言葉を借りれば、医療の核心は「医は心」という言葉に尽きると考えています。医療技術がどんなに進歩しても、「医は心」ということを忘れては本当の医療は行えません。

みなさんが医師として第一歩を踏み出す研修医という大事な時期において、様々な経験を重ねるとともに「医は心」ということの大切さも学んでいただき、今後の医療を支えていただきたいと思います。



医師会研修医会費無料化について

和歌山市医師会・和歌山県医師会・日本医師会、すべて研修医期間2年間は会費無料です。

【入会手順・お問い合わせ】

和歌山市医師会事務局(073-435-5199)に「和歌山市医師会研修医会員について知りたい」とお伝え下さい。

和歌山市医師会 URL: <http://washii-unet.jp>

◆日本医師会女性医師バンク◆

女性医師・男性医師・医療機関よりの求人・求職・ご相談に対応しております。成立時もちろんすべて無料です。電話番号は03-3942-6512です。お気軽にご相談下さい。

研修医しゅー



和歌山県医師会

〒640-8514 和歌山市小松原通1丁目1 県民文化会館
電話(073)424-5101代 FAX(073)436-0530
E-mail: ishikai@wakayama.med.or.jp

平成30年9月発行



「病児保育の紹介」

医療法人 三日月会 月山チャイルドケアクリニック 院長 月山 啓 先生



皆様が外来担当の日や、手術の執刀医であった当日に、突如、ご自身のお子どもさんが発熱し、保育所では預かっていただけない状況になった際、どうしたらいいのでしょうか。

子どもが病気になった際は、養育者が看護するのが理想であり、その際に養育者が看護に専念できる環境を社会全体が構築(就業支援)していくことは最重要課題ですが、現状は十分に整備されているとは言えません。

このような場合の育児支援(就業支援)として、(1)ファミリーサポートセンター、(2)ベビーシッター、(3)NPO法人などが利用できますが、病気になった子どもを常設の施設内でお預かりすることを病児保育といいます。主として当該事業所に勤務している方のお子どもを対象としている事業所内保育所や病気後の児を預かる施設もありますが、内閣府の子ども・子育て支援制度の一環である市町村委託事業(補助金事業)として運営され、発熱時でも対応する施設は、現在和歌山県下で5施設(下記)あります。この5施設は全て隔離室を備え、複数の感染症に対応し、医療機関併設型(病院か診療所に併設されている)であるため急変時にも対応が可能です。

開設時間、対象年齢、給食の有無、対象疾患は各施設によって異なりますのでお問い合わせください。使用料につきましても各施設によって異なりますが、1日2,000円前後です。

まだまだ開設施設が少ないので、感染症流行時には利用者が集中しお断りせねばならない時もありますが、有効にお使いいただければと思います。また、将来開業される場合がございます。病児保育室の併設をお考えいただければ和歌山の子育て環境の充実に繋がります。是非ご検討をお願い致します。

平山こどもクリニック

病児保育室 こぐまクラブ

〒643-0032 有田郡有田川町天満305-4
電話番号 0737-52-8667



こどもと赤ちゃんのクリニックBe

病児保育室 にじ色ひろば

〒646-0015 田辺市たきない町32-6
電話番号 080-5760-7819

月山チャイルドケアクリニック

病児保育室 ぴよんぴよん

〒640-8322 和歌山市秋月482-1
電話番号 073-476-2300



社会医療法人黎明会 北出病院

病児保育室 ひまわり

〒644-0011 御坊市湯川町財部728-4
電話番号 0738-24-0144

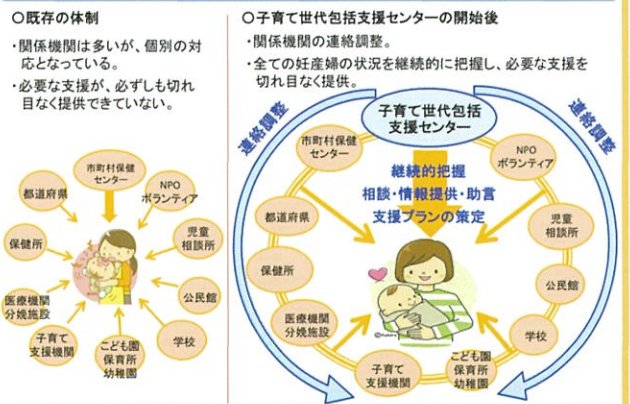
せせらぎクリニック

病児保育室 せせらぎの病児保育室

〒640-8435 和歌山市古屋153-7
電話番号 070-1364-790



子育て世代包括支援センターのイメージ



日本医師会、日本産婦人科医会、日本小児科医会などが早期の成立を目指す「成育基本法」

成育基本法とは

胎児期から新生児期、乳幼児期、学童期、思春期を経て次世代を育成する成人期までに至る「人のライフサイクル」の過程に生じる様々な健康問題を包括的に捉えて、適切に対応する法律です。

子育て世代包括支援センターとは

わが国では、妊娠期から子育て期にかけての支援は各種施策で行われていますが、総合的かつ継続的にワンストップで受けられる拠点はありませんでした。しかし、平成28年度から現状様々な機関が個々に行っている妊娠期から子育て期にわたるまでの支援を提供する「子育て世代包括支援センター」を立ち上げ、切れ目のない支援を始めています。

フィンランドの「ネウボラ」に似た仕組みですが、平成32年度末までに全国に設置される予定です。



平成30年度

県内新臨床研修医歓迎会(主催:和歌山県医師会)

平成30年4月5日(木)アバローム紀の国



第66回 日本職業・災害医学学術大会

～勤労者医療・災害医療を支えているチーム医療と地域連携～

日時:平成30年10月20日(土)・21日(日)

場所:ホテルグランヴィア和歌山

第50回 和歌山県医師会 医学会総会 日医生涯教育協力講座セミナー

「これからの高尿酸血症・痛風の治療戦略」

日時:平成30年11月18日(日)

場所:ホテルアバローム紀の国

午前中
一般演題

午後
講演会

◆日本医師会女性医師バンク◆

女性医師・男性医師・医療機関よりの求人・求職・ご相談に対応しております。成立時も**すべて無料**です。

電話番号は03-3942-6512です。お気軽にご相談下さい。

医師会研修医会費無料化について

和歌山市(その他)医師会・和歌山県医師会・日本医師会、すべて研修医期間**2年間**は**会費無料**です。途中入会も可能です。

入会手順・お問合せ

和歌山市医師会事務局(073-435-5199)に「和歌山市医師会研修医会員について知りたい」とお伝え下さい。

和歌山市医師会 URL: <http://washii-unet.jp>

医師資格証のご紹介

日本医師会電子認証センターは、厚生労働省の定める基準を満たし、これからのIT医療において重要となる「HPKIカード」を発行できる「HPKI認証局」として認められています。

医師資格証は、提示による証明だけでなく、ICカードリーダを用いて、ITの現場においても、保有者が医師であることを電子的に証明することが可能です。(日本医師会ホームページをご覧ください)

身分証としての利用シーン

ITでの利用シーン



採用時の
医師資格確認



緊急時の身分証



JAL DOCTOR
登録制度



講習会受付



ログイン認証



HPKI電子署名



研修会受講履歴
単位管理



MEDPost
(文書交換サービス)
の利用



新規採用研修医への 県医師会よりのガイダンス

平成30年度

日本赤十字社和歌山医療センターにて



和歌山県立医科大学附属病院研修医センターにて



第24回 Wakayama JOY JOY meeting

日時:平成30年11月14日(水)
19:00~20:10

場所:ホテルグランヴィア和歌山
6F「メゾングラン」

特別講演「女性の健康寿命を
延伸のための
骨粗鬆症治療と運動療法」

講師:和歌山県立医科大学
リハビリテーション医学講座
教授 田島文博先生



和歌山県医師会による第5回和歌山県内 平成30年度新臨床研修医歓迎会について

和歌山県医師会

理事 榎本 多津子

和歌山県医師会ではこれから和歌山県ひいては日本の医療を担っていく研修医の方々に「医師会」という組織やその活動をお知らせし、また研修医の方々からの御意見を伺いたいという主旨の下、毎年歓迎会を実施している。そして病院の垣根を越えた研修医の方々同士の交流や、指導医や先輩の先生方との懇親、医師会に対する興味の喚起に繋がればよいと考えている。

同会に先立ち平成30年3月28日(水)日本赤十字社和歌山医療センターにて、また4月3日(火)和歌山県立医科大学高度医療人育成センターにて新臨床研修医に対し「病院と地域医療連携」「医師会」「女性医師」に関してのガイダンスをさせて頂いた。

歓迎会は4月5日(木)19:00～ホテルアパローム紀の国にて執り行われた。参加者は110名の全新臨床研修医の方々、臨床研修病院管理者・指導医（和医大・園木卒後臨床研修センターセンター長、上野地域医療支援センター教授、日赤和歌山医療センター・筒井副院長、吉田副院長、和歌山生協病院・畑部長、和歌山ろうさい病院・中部長、橋本市民病院・古川院長代理、宮崎和歌山市医師会会長、吉村県医師協同組合専務理事、当会より寺下会長、平石・上林副会長、坂本・西岡（昭）・榎本・木下・中谷・西口・西岡（正）・柳川・島・伊東理事、丸笹・家田監事、他関係者 計134名であった。

当会榎本司会のもと、まず寺下会長の挨拶、平石代副会長音頭による乾杯があった。各病院代表者、研修医の代表者の挨拶、宮崎市医師会長及び吉村医師協理事よりのお話があり、グループ別にて研修医と医師会関係者等との懇談の後、上林副会長の挨拶にて盛会裏に閉会した。

医師会関係者より和歌山市医師会・和歌山県医師会・日本医師会のいずれも研修2年間は入会費、会費が無料であることや、医師会活動に関する啓発、説明があった。

今年は関係各位の御尽力もあり、医師会C会員（研修医会員）への入会に向けての意思表示をされた方が約17名いた。今後も活動を継続する予定である。

なお協賛の和歌山県医師協同組合、和歌山県医師信用組合に感謝している。





女性活躍企業同盟参加証明書

名称 一般社団法人和歌山県医師会
所在地 和歌山県和歌山市小松原通1丁目1
県民文化会館

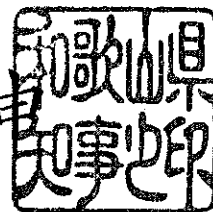
上記事業者は「女性活躍企業同盟」に参加していることを証明します。

参加年度 平成30年度

平成30年8月6日

和歌山県知事

仁坂 吉伸



和歌山県医師会男女共同参画委員会
並びに女性医師メンター制度医師 合同協議会 次第

日 時 平成30年8月4（土）14：30～15：15

場 所 和歌山県医師会会議室

1. 開 会

2. 挨拶

3. 報告並びに協議事項

I 和歌山県医師会男女共同参画委員会活動報告

(1) 和歌山県医師会女性医師支援事業報告

(2) 医師会（医会・部会）主催の研修会等への託児サービス併設費用補助について

(3) 日本医師会女性医師支援センター事業近畿ブロック会議について

(4) 「平成30年度女性医師の勤務環境の整備に関する病院長・病院開設者・管理者等への講習会」について

(5) その他

II 和歌山県医師会女性医師メンター制度報告並びに意見交換

4. 閉 会

地域における女性医師支援懇談会
「わかJOY会」

日 時 平成30年8月4日(土) 15:15～16:30
場 所 和歌山県医師会会議室
和歌山市小松原通1-1 和歌山県民文化会館5階

(総合司会) 和歌山県医師会理事 榎本 多津子

1. 開 会

2. 挨拶 和歌山県医師会 副会長 平石 英 三

3. 自己紹介

4. 講 演 座長 和歌山県医師会男女共同参画委員会委員 瀬藤 容子

「性差医療について」

講師 和歌山ろうさい病院 呼吸器内科 部長 辰田 仁美

5. ディスカッション

◎日本医師会女性医師バンクの普及啓発について

6. 閉 会

主 催：日本医師会女性医師支援センター
共 催：和歌山県医師会

平成30年度医学生をサポートするための会

日 時 平成30年10月12日(金) 13:40~14:50

場 所 和歌山県立医科大学 病院棟 4階 臨床講堂I

和歌山市紀三井寺811-1

TEL 073-447-2300

1. 開会挨拶

和歌山県医師会 理事 榎本 多津子

2. 講 義

講 演 「医学生のためのキャリア入門

～自分の未来をデザインしよう～

演 者 秋田大学 医学部総合地域医療推進学講座 准教授

蓮沼 直子

3. 閉 会

主催 和歌山県医師会 共催 日本医師会

申込受付中
無料
定員150人

みなで和歌山を元気にしたい！

和歌山イコール会議 設立5周年記念特別事業

8

いいこといっぱい!! 魅力がいっぱい!!

男の子育てのヒミツ?

日時 2018年11月11日(日) 13:30~(開場13:00)

場所 和歌山県JAビル 11階 大ホール
(和歌山市美園町5-1-1) TEL 073-488-5641

13:30~開会あいさつ

和歌山イコール会議
和歌山県(予定)
和歌山市(予定)

13:40~活動報告

13:50~講演・トーク

基調講演 「子どもの遊びから考える男の子育て」

(50分) 東京学芸大学副学長 松田恵示さん

男性が子どもと遊ぶことは、子どもの発達にとってもいい影響があります。
その「ヒミツ」をひもといってみましょう!



一時保育あり

お父さん、お母さんも
みんなで来てね!

講演

(20分)

「少子化の現状と男性の家事・育児参画について」

内閣府子ども・子育て本部参事官補佐(少子化対策担当) 阿部 嘉信さん

日本における少子化の現状のほか、さんきゅうパパプロジェクトなど内閣府で推進している取組について分かりやすく説明します。

トーク&トーク

(60分)

木下 幾晴さん(南和歌山医療センター 医師)

三木 保人さん(三木理研工業株式会社 取締役)

宮崎 久さん(和歌山市子ども未来部 部長)

松田さんと
男性3人が
本音でトーク!

松田さんのコーディネートのもと、子育てや働き方などについて本音で話し合い、「男性の子育て」と「ハッピーライフ」を会場の皆さんといっしょに考えます。

※出演者のプロフィールは裏面にあります。

後援：和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山県商工会議所連合会、和歌山県経営者協会、和歌山経済同友会、和歌山県商工会連合会、和歌山県中小企業団体中央会、連合和歌山、女性活躍企業同盟、わかやま結婚・子育て応援企業同盟

主催：和歌山イコール会議

(お問合せ先) お気軽にご連絡ください!

🏠 <https://www.facebook.com/wakayama5050/> ☎ 073-487-3229(上西)

✉ wec_1201@yahoo.co.jp (事務局) 📞 090-8481-0553(松永)

出演者のプロフィール

松田恵示 (まつだ けいじ) さん「遊び学」研究者、東京学芸大学副学長・教授、1962年和歌山県生まれ。大阪教育大学大学院卒。専門分野は社会学（スポーツ・教育・文化）と教育研究（体育科教育／教育支援）。NPO 法人東京学芸大こども未来研究所前理事長、中央教育審議会生涯学習分科会専門委員（2016年度）、吉本興業主催「笑楽校」監修など、教育および教育支援に関する多くの要職を兼任。学校と社会を繋ぐための教育人材の育成や、教育現場との実践的な共同作業を行っている。一方、社会意識論の立場から「遊び文化」を研究。「遊び」を取り入れた文化や社会を広げることに取り組んでいる。主な著書 『「遊び」から考える体育の学習指導』、『教育支援とチームアプローチ-社会と協働する学校とこども支援-』、『小学校体育これだけは知っておきたい「低学年指導」の基本』ほか多数。

木下 幾晴 (きのした いくはる) さん (南和歌山医療センター 医師)

夫婦とも医師。2014年に5人目の子どもが生まれ、妻は産休をとった後、半年後に育休を切り上げてフルタイムの勤務を復活。妻にかわって、今度は夫が育児のために時短勤務をした。このときから幼稚園や小学校のPTA会長となり活動、地域との関わりを深める重要性を感じている。



三木 保人 (みき やすと) さん (三木理研工業株式会社 取締役)

会社経営の傍ら、日曜大工、小中学生を対象としたキャリア教育などの社会貢献活動、子育てなどに取り組み、アウトドア活動も楽しむ1児の父。今回は地元経営者／父親の立場から話します。和歌山商工会議所青年部第4代会長(現在は監事)、公益財団法人わかやま地元力応援基金代表理事ほか。



宮崎 久 (みやざき ひさし) さん (和歌山市子ども未来部 部長)

いち早く男性の育児参加の重要性に着目！全国でも珍しい「父子手帳」を考案し制作を事業化。また、「イクメン・イクボス養成」等、男性と子育てをキーワードに事業を実施。「イクボス」と呼ばれたい和歌山市職員。



申込方法

*定員になり次第、締め切ります。お早めに申込みください。

締切 11月5日(月)

WEBで

お名前とふりがな、連絡先(電話番号)をメール送信してください。

E-mail : wec_1201@yahoo.co.jp

お電話で

次の番号まで、お電話をしてください。

電話番号 : 090-8481-0553

FAXで

次の表にご記入のうえ、FAX送信してください。

送信先 : 073-487-3229

一時保育

対象 : 1歳～未就学児

要予約・定員有・先着順

(ふりがな) お名前	連絡先 (電話番号)	※ 一時保育を希望の方は、お子さんの 名前と年齢を記入してください。
()		
()		
()		

※今回いただきました個人情報は大切に管理し、お申し込みいただきました講演会の受付名簿のみに使用します。

和歌山イコール会議 (代表 松原 敏美)

和歌山県内の様々な分野で活動する女性や、趣旨に賛同する女性130人が集まり、2013年12月に設立。

男性も女性も元気にいきいきと暮らせる和歌山をめざして、会員が相互にネットワークを活かし、女性の力を発揮しようと、6部会を中心に活動を行っている。

● Facebook

<https://www.facebook.com/wakayama5050>

● Blog

<http://blog.canpan.info/5050/>

● 入会希望などの連絡先 (事務局)

E-mail wec_1201@yahoo.co.jp

6部会 部会長

地域づくり部会 小原 智津

防災部会 市場 美佐子

働き方部会 有本 貴子

子育て・介護環境部会 松永 久視子

暴力防止部会 平木 貴子

多様な生き方応援部会 須佐 真理子

地域ブロック会議 ブロック リーダー

和歌山ブロック 赤川 みさを

紀北ブロック 井沼 和代

紀中ブロック 村山 淳子

紀南ブロック 松上 京子

第24回 Wakayama JOYJOY Meeting

— 女性医療研究会 —

【日時】 2018年11月14日（水） 19:00～20:10

【会場】 ホテルグランヴィア和歌山 6 F「メゾングラン」

和歌山市友田町5-18 TEL 073-425-3333

…………… プログラム ……………

【情報提供】 19:00～19:10 第一三共株式会社「プラリア皮下注60mgシリンジ」

【開会の辞】 和歌山ろうさい病院 第2呼吸器内科 部長 辰田 仁美 先生

【特別講演】19:10～20:10

座長 榎本耳鼻咽喉科 院長

和歌山県医師会理事 榎本 多津子 先生

「女性の健康寿命延伸のための骨粗鬆症治療と運動療法」

和歌山県立医科大学リハビリテーション医学講座

教授 田島 文博 先生

【閉会の辞】 済生会和歌山病院 糖尿病・代謝内科 医長 荒古 道子 先生

男性医師の参加も歓迎致します。

日本医師会生涯教育講座参加証1単位 C C : 77 (骨粗鬆症0.5単位)、82 (生活習慣0.5単位) 取得できます。

尚、講演会終了後、情報交換の場をご用意しております。

*当日は、ご参加頂いた確認のため、ご施設名・ご芳名のご記帳をお願い申し上げます。
なお、ご記帳頂いたご施設名・ご芳名は医薬品及び医学・薬学に関する情報提供のために
利用させて頂くことがございます。何卒、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

共催： 女性医療研究会 第一三共株式会社

後援： 和歌山県医師会

平成30年度女性医師の勤務環境の整備に関する
病院長、病院開設者、管理者等への講習会

日 時 平成31年1月19日(土) 15:15~16:45
場 所 和歌山県民文化会館 5階 大会議室
対 象 医師、医療関係者、病院長・病院開設者・管理者等

総合司会：和歌山県医師会理事 榎本多津子

開会挨拶 和歌山県医師会 副会長 平石 英三

15:15 解 説 「女性医師バンクについて」
日本医師会女性医師支援センター コーディネーター 久井 明子

15:30 講 演 【座長】和歌山県医師会 理事 榎本 多津子

「裁判例にみるセクハラ・パワハラ・ドクハラの臨界点」
中村・平井・田邊法律事務所
弁護士 田 邊 昇 先生

16:30 質疑応答

16:45 閉 会

和歌山県医師会 TEL 073-424-5101 FAX 073-436-0530 (担当 清水)

主催 和歌山県医師会

共催 日本医師会

後援 和歌山県病院協会(予定) 和歌山県(予定)